

令和 7 年度 事業報告

(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

公益財団法人 S G H 財団

本年度においても、国際的で活力ある社会の創造に向け、多面的かつ幅広く社会活動に寄与することを目的として、教育・文化、医療・福祉、経済・産業等の振興、発展を図るための研究及び事業への助成等を行うとの本財団の設立趣旨に則し、公益財団法人として、公益目的事業の充実を図るべく、東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国からの外国人留学生に対する奨学金助成事業、がんの基礎研究並びに応用治療研究に対する助成、褒賞事業、並びにがんに関するオンラインによる市民講座を実施した。また、物流人材育成を目的に、国土交通省の日 ASEAN 交通連携に協力し、ラオス人民民主共和国、ベトナム社会主義共和国、マレーシアに対して物流に関する講義の提供を行った。

I 事業の概要

公益目的事業

1 留学生奨学事業

(1) S G H 奨学生

日本の大学または大学院に在学する東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国の国籍を有する私費外国人留学生を対象とし、大学に募集要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の令和 7 年 4 月 17 日までに 71 大学から 76 名の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、第 40 期 S G H 奨学生並びに第 5 期 S G H 特定奨学生を選出、理事会の決議を経て、次のとおり奨学支援を行った。

第 40 期 S G H 奨学生：20 名

（一人当たり月額 12 万円、給付期間 2 年間）

年間給付額：2,880 万円（令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月）

氏 名

国籍

大学／学部・研究科

（敬称略・順不同）

スワイ トー

ミャンマー

立命館アジア太平洋大学

サステイナビリティ観光学部

エズリ イムラン ビン ラシディ	マレーシア 拓殖大学 工学部
ホアン キム リン	ベトナム 福井工業大学 環境学部
チャン タイン チュック	ベトナム 環太平洋大学 経済経営学部
チャン ミイ キン	ミャンマー 開智国際大学 国際教養学部
グエン ティ クイン ガー	ベトナム 桜美林大学 グローバル・コミュニケーション学部
タン チュン シュエン	マレーシア 立命館大学 経済学部
デスモン ロー ハウ キャ	マレーシア 香川大学 創造工学部
グエン ティ ラン	ベトナム 武蔵野大学 グローバル学部
チャン ティ ミー ハン	ベトナム 日本福祉大学 国際福祉開発学部
チア ジ ジア	マレーシア 福井大学 国際地域学部
ブ レ ゴック タオ	ベトナム 岡山県立大学 情報工学部
シャノン フローレンス ウー	インドネシア 京都精華大学 マンガ学部
グエン ティ アイン	ベトナム 山形大学 大学院理工学研究科
シャム キ メイ	マレーシア 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科
ピウソダリ ソンビラサイ	ラオス 群馬大学 大学院情報学研究科
フィン タン ロック	ベトナム 東京都市大学 大学院総合理工学研究科
ネイ ミョー ハン	ミャンマー 大阪産業大学 大学院工学研究科
トリスタン グナワン ハルタンディ	インドネシア 愛知教育大学 大学院教育学研究科
グエン ティ トウイ	ベトナム 青森県立保健大学 大学院健康科学研究科

第5期SGH特定奨学生：4名

（一人当たり月額18万円、給付期間2年間）

年間給付額：864万円（令和7年4月～令和8年3月）

氏名	国籍 大学／研究科（敬称略・順不同）
グエン チョン クオン	ベトナム 会津大学 大学院コンピュータ理工学研究科
ウチシリラッタナチャイ タサパック	タイ 創価大学 大学院理工学研究科
グエン ティ ホア	ベトナム 滋賀医科大学 大学院医学系研究科
プトリ テビ レント アスモロ	インドネシア 大阪工業大学 大学院工学研究科

第39期SGH奨学生：20名

（一人当たり月額12万円、給付期間2年間）

年間給付額：2,880万円（令和7年4月～令和8年3月）

氏名	国籍 大学／学部・研究科（敬称略・順不同）
センモンチャン パー	ラオス 長岡技術科学大学 工学部
レ ミン ヒェウ	ベトナム 岡山大学 グローバル・ディスカバリー・プログラム
ブラノン ファウスティン マー セガヨ	フィリピン 都留文科大学 文学部
グエン ティ トゥイ	ベトナム 長崎県立大学 経営学部
クリスチャン フィルカサ パランテ	インドネシア 東京国際大学 ビジネスエコノミクス学部
ライ トゥイ リン	ベトナム 帝京大学 経済学部
マク スイ ヤ	マレーシア 東洋大学 経済学部
グエン タイン トウン	ベトナム 福井工業大学 工学部
ヴ トゥイ リン	ベトナム 日本福祉大学 国際福祉開発学部
クリストファー ケビン シスワント	インドネシア 立命館大学 情報理工学部

グエン ティ ゴック ハン	ベトナム 追手門学院大学 国際学部
グエン アン クアン	ベトナム 環太平洋大学 経済経営学部
リー ユン ル	シンガポール 立命館アジア太平洋大学 国際経営学部
ジエン マカラ	カンボジア 神戸大学大学院 理学研究科
ダラ サリ アリニ	インドネシア 徳島大学大学院 口腔科学研究科
ヒダヤット ジハン アルサ	インドネシア 早稲田大学大学院 基幹理工学研究科
グッサワンネート ダラサットゥリー	タイ 一橋大学大学院 社会学研究科
フン ヴ トゥイ リン	ベトナム 大阪大学大学院 国際公共政策研究科
クリストファー ケニー ホエシン	インドネシア 上智大学大学院 グローバル・スタディーズ研究科
グエン ゴック トウック	ベトナム 龍谷大学大学院 文学研究科

第4期SGH特定奨学生：5名

（一人当たり月額18万円、給付期間2年間）

年間給付額：1,080万円（令和7年4月～令和8年3月）

氏 名	国籍 大学／研究科 （敬称略・順不同）
ジン ペイン トウ	ミャンマー 富山大学大学院 医学薬学教育部
マナロ ジアン ビアンカ ピロテ	フィリピン 岐阜大学大学院 連合農学研究科
インダ ジャミアトゥン ハサナ	インドネシア 山口大学大学院 東アジア研究科
ヌティパー イヤムオーパー	タイ 北里大学大学院 獣医学系研究科
ジュライ キン マウン ソー	ミャンマー 聖路加国際大学大学院 公衆衛生学研究科

(2) 奨学生交流活動

① 奨学生採用証書授与式

第40期SGH奨学生ならびに第5期SGH特定奨学生を対象とした授与式を次のとおり開催した。

日 時	令和7年10月20日（月）11:30～12:30
場 所	ホテルグランヴィア京都
内 容	第40期SGH奨学生・第5期SGH特定奨学生採用証書授与式

② 交流会

第40期SGH奨学生、第5期SGH特定奨学生及び、前年度奨学生の留学生相互間の交流を深めることを目的として、次のとおり交流会を開催した。

日 程	令和7年10月18日（土）～19日（日）
場 所	京都府
内 容	観光（嵐山、京都タワー） 体験（保津川下り、がま口作り）

③ 同窓会（なごみ会）

奨学生及び卒業奨学生が互いの近況報告や情報交換をする交流の場を設けると共に、卒業奨学生と長期にわたり繋がりを維持していくことを目的として、同窓会（なごみ会）を次のとおり開催した。

・同窓会（なごみ会）

日 時	令和8年1月24日（土）12:00～14:00
場 所	TKP ガーデンシティ PREMIUM 神保町
内 容	近況報告、情報交換等

・海外同窓会（なごみ会）

日 時	令和7年7月13日（日）12:00～14:00
場 所	ベトナム ロッテホテルサイゴン
内 容	近況報告、情報交換等

④ オリエンテーション

第40期SGH奨学生、第5期SGH特定奨学生の留学生相互間の交流を深めることを目的として、次のとおりオリエンテーションを開催した。

日 程	令和7年7月1日（火）・2日（水）（選択制）
場 所	東京都

(3) 刊行物発刊

① 奨学生報告集「2025 年度版 アジアの和」

第 40 期 S G H 奨学生並びに第 5 期 S G H 特定奨学生の留学目的、学習または研究の方針及び感想文等と第 39 期 S G H 奨学生並びに第 4 期 S G H 特定奨学生の私の夢について掲載、令和 7 年 10 月に 270 部発刊し、奨学生、卒業奨学生及び財団関係者に配付した。

② 第 39 期 S G H 奨学生・第 4 期 S G H 特定奨学生 研究成果・感想文集

令和 8 年 3 月に卒業・修了した第 39 期 S G H 奨学生並びに第 4 期 S G H 特定奨学生の研究成果・感想文集を令和 8 年 2 月に 270 部発刊し、奨学生、卒業奨学生及び財団関係者に配付した。

2 助成事業・褒賞事業

(1) 第 37 回 S G H がん研究助成

日本の大学、研究機関、医療機関等において、がんに関する基礎研究または臨床研究に携わる満 45 歳未満の日本人研究者及び医療従事者、並びに日本に定住する外国人研究者及び医療従事者の優れた研究を助成対象とし、大学、研究機関、医療機関等に応募要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の令和 7 年 6 月 30 日までに 88 機関から 228 件の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、助成対象者を選出、理事会の承認を経て、次のとおり助成を行った。研究期間終了後、研究報告書及び会計報告書を入手する。

助成数：25 件 金額：5,000 万円（1 件当たり 200 万円）

氏 名	所属・役職／研究テーマ	(敬称略・五十音順)
秋山 弘樹	東京科学大学病院血液内科・特任助教 造血幹細胞および白血病幹細胞における脂肪滴代謝の役割の解明と、新規抗白血病幹細胞治療標的としての可能性の検討	
池田 英樹	千葉大学大学院医学研究院呼吸器内科学・特任助教 ミトコンドリア DNA 動態が紡ぐ老化発がん機構の解明	
市村 敦彦	立命館大学薬学部統合生理学研究室・准教授（研究室主宰者） がん悪液質を引き起こす新規単球サブセットにおける細胞内 Ca ²⁺ シグナルの解明	
尾池 貴洋	群馬大学医学部附属病院放射線治療科・講師/重粒子線医学センター・副センター長 独自開発放射線感受性データベースを用いた新規放射線治療増感標的の探索	

北嶋 俊輔	公益財団法人がん研究会がんプレシジョン医療研究センターがん免疫制御プロジェクト・プロジェクトリーダー 紡錘体形成阻害に伴う免疫原性核酸の発生機構解明およびがん治療への応用
栗本 遼太	千葉大学大学院医学研究院分子病態解析学講座・特任講師 mRNA 修飾に基づく翻訳出力不均一性の可視化とがん治療標的化技術の開発
迫田 哲平	九州大学病院血液・腫瘍・心血管内科・助教 CRHBP を標的とした寛解期急性骨髄性白血病幹細胞治療抵抗性の克服に向けた分子基盤の解明
佐々木 豪	三重大学医学部附属病院腎泌尿器外科・講師 前立腺癌における癌関連線維芽細胞遺伝子発現プロファイリングの人種間差異に着目した去勢抵抗性獲得メカニズムの解明
佐藤 和秀	名古屋大学大学院医学系研究科・特任講師 がん治療モダリティ細胞死の分子機序解明と基盤構築
住吉 崇幸	京都大学医学部附属病院泌尿器科・助教 腫瘍組織の分子生物学的解析に基づいた転移性前立腺癌のクローン進化の解明とプレシジョン医療の実現
高瀬 翔平	国立がん研究センター研究所がん治療学研究分野・研究員 膵臓がんにおける SMAD4 欠損と代謝経路阻害の合成致死的作用機構の解明
高橋 重成	京都大学大学院工学研究科合成・生物化学専攻分子生物化学分野・准教授 がん細胞の“逃避戦略”を断つ：酸化ストレスに着目した転移阻止の新機軸
田口 和浩	広島大学病院消化器・移植外科・助教 直腸癌に対する放射線療法のアブスコパル効果に関する橋渡しの検証と免疫機構の解明
玉井 望雅	東京大学医科学研究所幹細胞治療研究センター幹細胞分子医学分野・特任助教 HeH-ALL の新規疾患モデルの樹立と病態解明を目指した研究
長谷 拓明	大阪大学大学院薬学研究科再生適応学分野（生命薬学領域）・助教 RNA 代謝産物 m6,6A が担うがん免疫逃避機構の解明
波多江 龍亮	九州大学大学院医学研究院脳神経外科学・助教 神経膠腫における骨髄系細胞の代謝制御による免疫療法の新戦略
平田 祐介	東北大学大学院薬学研究科衛生化学分野・准教授 フェロトーシス感受性のヒト特異的な制御機構の解明とそのがん治療への応用
松井 崇浩	大阪大学大学院医学系研究科病態病理学・病理診断科・准教授 組織常在性マクロファージの形質変化に着目した早期がん検出の研究

丸山 和晃	三重大学大学院医学系研究科修復再生病理学・助教(研究科内講師) リンパ管機能制御による腫瘍免疫活性化と転移抑制を目指した治療法開発に関する研究
水谷 知裕	東京科学大学大学院医歯学総合研究科消化器病態学分野・講師 循環腫瘍細胞由来オルガノイドによる転移性大腸癌の病態解明
宮本 大輔	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科移植・消化器外科学・助教 オルガノイド融合に伴う希少性小腸癌モデルを用いた新たな癌薬物療法の確立
明神 悠太	大阪大学医学部附属病院消化器内科・医員 肝細胞癌の免疫微小環境における GDF 15 を介した細胞間相互作用の解明
牟田 優	京都大学大学院医学研究科消化器内科学・特定助教 細胞内 β カテニン分解誘導技術を活用した大腸癌進展メカニズムの解明
森脇 健太	広島大学大学院医系科学研究科医化学教室・教授 がん細胞死抵抗性の克服に基づく新規複合がん免疫療法の開発
吉田 遼平	旭川医科大学内科学講座呼吸器・脳神経内科学分野・客員講師 免疫療法抵抗性肺がんに対する新規治療戦略の創出

(2) 第7回SGHがん看護研究助成

日本の大学、研究機関、医療機関等において、がん看護に携わる日本人研究者及び医療従事者、並びに日本に定住する外国人研究者及び医療従事者の優れた研究を助成対象とし、大学、研究機関、医療機関等に応募要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の令和7年6月30日までに36機関から41件の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、助成対象者を選出、理事会の承認を経て、次のとおり助成を行った。研究期間終了後、研究報告書及び会計報告書を入手する。

助成数：12件 金額：597万円（1件当たり50万円以内）

氏名	所属・役職／研究テーマ	(敬称略・五十音順)
井沢 知子	神戸市看護大学療養生活看護学領域慢性病看護学分野・准教授 がん相談支援センターにおけるがん患者の就労支援ニーズと、就労を促進する支援内容の探索	
岩井 直子	京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻先端広域看護科学講座地域健康創造看護学・助教 小児造血細胞移植における多職種協働による年齢別移植説明パンフレットの導入効果と臨床的有用性の検討	

梅本 由里子	関西電力病院看護部・看護副師長・がん化学療法看護認定看護師 経末梢静脈がん薬物療法における安全な留置針交換タイミングの検討
大日方 裕紀	北海道大学大学院保健科学研究院基盤研究学分野・助教 緩和ケアのフェーズを用いた終末期がん患者の看護ケアの可視化と有効性に関する研究
小熊坂 祐太	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻統合保健看護科学分野生命育成看護科学講座・博士後期課程 日本語版包括的がん治療に対する満足度尺度の開発及び思春期小児がん患者の包括的がん治療に対する満足度と心的外傷後成長との関連
佐々木 香代	独立行政法人労働者健康安全機構九州労災病院・がん化学療法看護認定看護師/久留米大学大学院心理学研究科 がん患者におけるポジティブティとポスト・トラウマテック・グロースの関連：心理的適応とコーピング方略の媒介効果に関する縦断的検討
高木 尚江	岡山大学病院看護部外来Ⅱ・看護師 ウェアブルデバイスを用いた CAR-T 細胞療法中の患者モニタリングの試み
高山 良子	神戸市看護大学看護学部療養生活看護学領域慢性病看護学分野・講師・がん看護専門看護師 がんサバイバーと家族員へのダイアド看護介入プログラムの開発～FOCUS-J プログラムに関するアクション・リサーチ～
幅野 愛理	公益財団法人がん研究会有明病院臨床遺伝医療部・認定遺伝カウンセラー RRSO 後の性生活と更年期症状に関する包括的情報提供ツールの開発と全国展開
松野 史	久留米大学医学部看護学科成人看護学・助教 終末期がん患者が穏やかさを見出すための看護援助モデルの開発～援助モデル原案の作成と内容妥当性検証～
三次 真理	上智大学総合人間科学部看護学科・教授 困難を抱えるがん患者への寄り添いのケアの創出をめざした急性期病棟のアクションリサーチ
山田 裕子	東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻医療コミュニケーション学分野・博士後期課程 当事者と利害関係者の共同設計による HPV ワクチン接種意思決定ガイドの開発と評価

(3) 第23回SGH特別賞

がんの研究に顕著な功績を挙げ、かつ今後の発展が期待される研究者及び医療従事者の推薦を、医学部を置く大学、学会、がん診療連携拠点病院等の団体、並びに学識経験者、当財団理事、評議員及び顧問に依頼した結果、推薦締切の令和7年6月30日までに15件の推薦があり、選考委員会による慎重かつ公正な選考結果をもとに理事会の承認を経て、次のとおり褒賞を行った。翌年度、受賞テーマの研究報告書を入手する。

贈呈数：2 件 総額：1,000 万円（1 件当たり 500 万円）
栗和田榮一賞：彫刻家 笹戸千津子氏作のブロンズ像「希望」

氏 名	所属・役職／受賞テーマ	(五十音順)
河野 隆志 氏	国立がん研究センターがんゲノム情報管理センター・センター長 新規モダリティの発見・開発・実装によるがんゲノム医療の推進	
溝脇 尚志 氏	京都大学大学院医学研究科放射線腫瘍学・画像応用治療学・教授 革新的高精度画像誘導放射線外部照射装置および照射技術の研究 開発と臨床展開	

(4) 第 23 回 S G H 看護特別賞

がん看護に関する研究に顕著な業績を挙げ、将来も活動が継続され、その成果が期待される個人、または団体の推薦を、CNS コースを有する大学、学会、看護協会等の団体、並びに学識経験者、当財団理事、評議員及び顧問に依頼した結果、推薦締切の令和 7 年 6 月 30 日までに 8 件の推薦があり、選考委員会による慎重かつ公正な選考結果をもとに理事会の承認を経て、次のとおり褒賞を行った。翌年度、受賞テーマの研究報告書を入手する。

贈呈数：2 件 総額：200 万円（1 件当たり 100 万円）
栗和田榮一賞：彫刻家 笹戸千津子氏作のブロンズ像「悠」

氏 名	所属・役職／受賞テーマ	(五十音順)
鈴木 久美 氏	大阪医科薬科大学看護学部・教授・学部長 乳がん啓発教育プログラムの開発とその有効性に関する研究	

特定非営利活動法人ホスピスケア研究会 代表者：關本 翌子 氏

がんサバイバーのサポート・グループ (SG)に参加することにより得られる看護師の効果

(5) 授与式・授賞式の開催

第 37 回 S G H がん研究助成金受領者、第 7 回 S G H がん看護研究助成金受領者を対象とした授与式、第 23 回 S G H 特別賞授賞式、第 23 回 S G H 看護特別賞授賞式を次のとおり開催した。

なお、採録記事を読売新聞全国版朝刊（令和 8 年 1 月 17 日）に掲載した。

日 時 令和 7 年 12 月 6 日（土）11:00～12:30
場 所 ホテルグランヴィア京都

- 内 容 第 37 回 S G H がん研究助成金授与式
 第 7 回 S G H がん看護研究助成金授与式
 第 23 回 S G H 特別賞・S G H 看護特別賞授賞式

(6) 研究成果報告集の刊行

第 22 回 S G H 特別賞受賞者、第 22 回 S G H 看護特別賞受賞者、及び第 6 回 S G H がん看護研究助成金受領者より提出されたがんに関する研究成果報告と令和 7 年度のがん研究振興事業報告を掲載し、「2025 S G H がん研究報告 Vol.36」を令和 8 年 3 月に 1100 部発刊し、全国の大学、研究機関、病院等に配付した。

(7) ワークショップの開催

S G H がん研究助成採択者間の交流を目的として、第 6 回 S G H がん研究者ワークショップを次のとおり開催した。

- 日 程 令和 7 年 8 月 2 日（土）～3 日（日）
場 所 滋賀県守山市 レークさがわ保養所
内 容 第 6 回 S G H がん研究者ワークショップ

3 がんに関する市民講座の開催

第 24 回市民公開講座をオンライン配信により次のとおり開催した。

なお、採録記事を読売新聞全国版朝刊（令和 8 年 3 月 29 日）に掲載した。

第 24 回市民公開講座

「命を守る選択、未来につなぐ がん医療
～乳がん、卵巣がん、子宮がんの最新治療と妊よう性温存～」

日 時 令和 8 年 3 月 1 日（日）13:00～15:45

講演（各 25 分）

「乳がん治療の最近の進歩～一人ひとりに最も適した治療を～」

増田 慎三 氏

（京都大学大学院医学研究科乳腺外科学教授）

「知っておきたい卵巣がん～治療と予防の最新情報～」

小玉 美智子 氏

（大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学教授）

「子宮がん（頸がん・体がん）最前線～予防から治療まで～」

安彦 郁 氏

（金沢大学医薬保健研究域医学系産科婦人科学教授）

「妊よう性温存とその選択肢～がん・生殖医療の最新の話題～」
鈴木 直 氏

(聖マリアンナ医科大学産婦人科学主任教授)

パネルディスカッション (55 分)

モデレーター：小西 郁生 氏、平岡 眞寛 氏

パネリスト：増田 慎三 氏、小玉美智子 氏、安彦 郁 氏、
鈴木 直 氏

コーディネーター 小西 郁生 氏

(京都大学名誉教授／国立病院機構京都医療センター名誉院長)

平岡 眞寛 氏

(京都大学名誉教授／宇治徳洲会病院顧問／藤田医科大学客員教授)

司 会 植月 百枝 氏 (フリーアナウンサー)

参加者数 1836 名

後 援 公益財団法人日本対がん協会

協 力 S Gホールディングスグループ

その他事業

1 中古トラックの無償寄贈事業

本事業については、本年度は休止した。

2 人材育成支援事業

(1) 日中友好物流人材育成支援研修

本事業については、本年度は休止した。

(2) ラオス物流人材育成支援

ラオス人民民主共和国のラオス国立大学で物流を専攻する学生 41 名に下記のとおり講義の提供を行った。平成 26 年度より、国土交通省の日 ASEAN 交通連携に協力し、ASEAN 地域を対象に物流に関する講義の提供を行っている。

日 程 令和 7 年 5 月 19 日 (月) ～5 月 26 日 (月)

場 所 ラオス国立大学

内 容 第 8 期ラオス物流集中講義
物流概論、物流オペレーション

(3) ベトナム物流人材育成支援

ベトナム社会主義共和国のホーチミン市交通大学で物流を専攻する学生 220 名に下記のとおり講義の提供を行った。平成 26 年度より、国

土交通省の日 ASEAN 交通連携に協力し、ASEAN 地域を対象に物流に関する講義の提供を行っている。

日 程 令和 7 年 7 月 14 日（月）～7 月 22 日（火）
場 所 ホーチミン市交通大学
内 容 第 10 期ベトナム物流集中講義
物流概論、物流オペレーション

(4) マレーシア物流人材育成支援

マレーシアのニライ技能短期大学で物流を専攻する学生 120 名に下記のとおり講義の提供を行った。平成 26 年度より、国土交通省の日 ASEAN 交通連携に協力し、ASEAN 地域を対象に物流に関する講義の提供を行っている。

日 程 令和 7 年 8 月 18 日（月）～8 月 26 日（火）
場 所 ニライ技能短期大学
内 容 第 3 期マレーシア物流集中講義
物流概論、物流オペレーション

II 処務の概要

1 役員等に関する事項

(1) 役員に関する事項

理事 定数：5 名以上 7 名以内 現在：6 名 任期：2 年
監事 定数：3 名以内 現在：2 名 任期：4 年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
理事長	栗和田 榮一	S G ホールディングス株式会社代表取締役会長 佐川急便株式会社会長
理事	大久保 潔	S G ホールディングス株式会社秘書室理事
理事	小西 郁生	京都大学名誉教授／独立行政法人国立病院機構京都医療センター名誉院長
理事	鳶野 克己	立命館大学文学部特任教授
理事	平岡 眞寛	京都大学名誉教授／宇治徳洲会病院顧問／藤田医科大学客員教授
理事	堀江 未来	立命館大学グローバル教養学部教授・学部長

監事	藤村 伸治	はばたき税理士法人代表社員
監事	堀村 不器雄	税理士法人堀村会計事務所代表社員

(2) 評議員に関する事項

評議員 定数：5名以上7名以内 現在：6名 任期：4年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
評議員	上田 龍三	名古屋大学大学院医学系研究科特任教授／名古屋市立大学名誉教授
評議員	武 藤 誠	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院理事・医学研究所長／京都大学大学院医学研究科連携大学院教授
評議員	西堀 正司	公益社団法人日本中国友好協会専務理事
評議員	馬場 完造	馬場完造税理士事務所
評議員	古城 紀雄	大阪大学名誉教授
評議員	松本 秀一	S Gホールディングス株式会社代表取締役社長

(3) 顧問に関する事項

顧問 定数：なし 現在：5名 任期：2年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
顧問	垣添 忠生	公益財団法人日本対がん協会会長
顧問	菊地 宏子	元一般財団法人佐川国際経済協力会事務長
顧問	佐谷 秀行	藤田医科大学がん医療研究センターセンター長
顧問	橋本 逸男	日本ラオス協会名誉顧問
顧問	畠 清彦	医療法人財団順和会赤坂山王メディカルセンター予防医学センター／国際医療福祉大学臨床医学研究センター

2 会議に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
-------	------	-------

令和7年5月21日 (みなし決議)	第40期SGH奨学生及び第5期SGH特定奨学生採用決定の件	承認
令和7年6月3日	令和6年度事業報告及び附属明細書の承認の件	承認
	令和6年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件	承認
	顧問5名選任の件	承認
	顧問の報酬等並びに費用に関する規程改定の件	承認
	選考委員の報酬等並びに費用に関する規程改定の件	承認
	SGホールディングス株式会社定時株主総会における議決権行使の件	承認
	定時評議員会開催の件	承認
	職務執行状況について	報告
令和7年6月19日 (みなし決議)	理事長選定の件	承認
	理事長に事故があるときの職務代行順位選定の件	承認
令和7年9月18日 (みなし決議)	第23回SGH特別賞受賞者決定の件	承認
	第23回SGH看護特別賞受賞者決定の件	承認
	第37回SGHがん研究助成採択決定の件	承認
	第7回SGHがん看護研究助成採択決定の件	承認
令和8年3月23日	基本財産繰り入れの件	承認
	特定費用準備資金（SGH特定奨学生積立基金）の取崩し及び再設定の件	承認
	諸規程制定及び改廃の件	承認
	令和8年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類承認の件	承認
	職務執行状況について	報告

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
	令和6年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件	承認

令和7年6月19日	理事6名選任の件	承認
	評議員1名選任の件	承認
	役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程改定の件	承認
	議事録署名人選任の件	承認
	令和6年度事業報告の件	報告

(3) 各種委員会

① S G H奨学生選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和7年5月6日	第40期S G H奨学生の選考に関する件、 第5期S G H特定奨学生の選考に関する件	対象者を選出

② S G Hがん研究助成選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和7年8月28日	第37回S G Hがん研究助成選考に関する件	対象者を選出

③ S G Hがん看護研究助成選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和7年9月3日	第7回S G Hがん看護研究助成選考に関する件	対象者を選出

④ S G H特別賞選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和7年8月5日	第23回S G H特別賞選考に関する件	対象者を選出

⑤ S G H看護特別賞選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和7年8月6日	第23回S G H看護特別賞選考に関する件	対象者を選出

3 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

(1) 理事の職務執行に係る情報の保存及び管理に関する事項

理事の職務執行は、法令及び定款等に基づいて行われ、その職務執行に係る情報は、理事会議事録に記載され、その記録の保存・管理は、適切に保存及び管理している。

(2) 理事及び職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

法令、定款及び社会規範等の遵守を目的としている。

4 内閣府への提出等に関する事項

提出年月日	内容
令和7年6月20日	事業報告等の提出
令和7年6月20日	変更の届出
令和7年7月3日	変更の届出
令和8年3月30日	変更の届出
令和8年3月30日	事業計画書等の提出

5 寄附収入に関する事項

なし

Ⅲ 法人の運営体制の充実を図るための取組

- ・ コンプライアンス強化の対応として内部通報できる体制を整備している。
- ・ 公益財団法人の実務に詳しく、かつガバナンスに対し深い知識を有する外部専門家と契約を結び、助言を得ることで適正な法人運営に努めている。
- ・ 評議員、理事、監事に対し、定期的に各事業に関する情報や開催報告書を送付し、組織の活動状況について十分な情報共有を行っている。

附属明細書

令和 7 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 8 年 6 月

公益財団法人 S G H 財団